

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和5年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	2 「美酒・美食のあきた」の創造			
施策の方向性	② 食品製造業の振興			
事業名	食品産業価格高騰対策事業	事業年度	R5 R5	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	食のあきた推進課	
チーム名	食品工業チーム			

1 事業実施の背景及び目的

原材料等の価格高騰の影響を受ける中でも成長を目指す食品製造事業者を支援するために、商品改良や販路拡大、及びそれに関連する製造機器・設備購入等に要する経費を助成することで、事業者の収益構造の改善を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	令和4年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	食品産業価格高騰対策事業	原材料等の価格高騰に対応するため事業者が行う商品改良や販路拡大等に係る取組、及びそれに関連した製造機器・設備購入等に要する経費を補助する。	10,626		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	10,626	0	0
国庫補助金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		10,626		
県債					
その他					
一般財源			0	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	原材料等の価格高騰の影響を受ける食品製造事業者への補助件数(件)【業績指標】									
指標式	原材料等の価格高騰の影響を受ける食品製造事業者への補助件数									
出典	食のあきた推進課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								5		
実績b										
b/a								0.0%		

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和5年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	4 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現			
施策の方向性	② スポーツを通じた地域づくりと交流人口・関係人口の拡大			
事業名	大学生・高校生等モニター合宿支援事業	事業年度	R5 R5	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	スポーツ振興課	
チーム名	調整・スポーツ活性化チーム			

1 事業実施の背景及び目的

エネルギー・食料品等の物価高騰の影響により、経営状況が悪化している田沢湖スポーツセンターを運営する指定管理者(利用料金併用制)について、スポーツ合宿等を切り口としたグリーンシーズンの交流人口・関係人口の拡大に資する取組を支援し、収益の改善を図ることで運営を支援する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	令和4年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	大学生・高校生等モニター合宿支援事業	田沢湖スポーツセンターの施設を活用して行う県内外の大学生・高校生等の部活動等を対象に、改善点等の意見を聴取するモニター合宿の実施経費の一部を補助する。	4,215		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	4,215	0	0
国庫補助金	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		4,215		
県債					
その他					
一般財源				0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	モニター合宿の延べ宿泊者数(人泊)【業績指標】									
指標式	モニター合宿の延べ宿泊者数(人泊)									
出典	スポーツ振興課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								1,000		
実績b										
b/a								0.0%		

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和5年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	4 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現			
施策の方向性	② スポーツを通じた地域づくりと交流人口・関係人口の拡大			
事業名	第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会開催事業	事業年度	R5 R6	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	スポーツ振興課	
チーム名	スポーツプロジェクトチーム			

1 事業実施の背景及び目的

冬季大会スキー競技会の開催地調整が難航していた(公財)日本スポーツ協会からの要請を受け、令和7年2月に鹿角市花輪スキー場での開催が決定した「第79回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会」に向けた開催準備を行い、県内ジュニア選手の競技力向上、交流人口拡大に伴う地域経済の活性化及び来県者を通じた本県の魅力発信を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	令和4年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	開催準備経費	大会テーマ・スローガンの募集及びポスターデザイン制作と、大会開催機運の醸成のほか、関係機関との連絡調整等を行う。	1,909		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	1,909	0	0
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			1,909	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

来年度に行われる本大会開催のための準備事業であり、また、本大会についても「国民スポーツ大会開催基準要項」により明確に運営方法等が定められていることから事業評価の対象としたいため。

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

コロナ禍で行われた前回の第77回大会においては、選手役員等約1,800人が参加し、経済波及効果として約211百万円との試算(鹿角市試算)であった。本大会においても同等以上の効果が見込まれる。